

ぽかぽかプロジェクト



2013年6月13日

ご寄付をいただいた皆様

このたびは「ぽかぽかプロジェクト」にあたたかいご寄付を頂き、誠にありがとうございました。おかげさまで、ぽかぽかプロジェクトでは第4期(1月18日から3月30日)を無事に終了し、第1期より第4期までに、延べ2983名にご利用頂きました。また別途「ぽかぽかプロジェクト」と「南房総青少年キャンプ」とのコラボ企画も行い、夏休みと冬休み期間には3泊4日でそれぞれ25名、18名の福島の子もたちが千葉の自然の中でのびのびと遊ぶことができました。合わせた延べ泊数としましては3000泊を超えています。

現在は猪苗代シェアハウスでの保養を5月3日より7月15日までの予定で第5期として実施中です。また9月より11月を第6期といたしまして同じく猪苗代シェアハウスにて実施の予定でご案内の送付を始めているところです。「南房総青少年キャンプ」とのコラボ企画の方も今度の夏休みにも実施の予定で準備中です。冬にはまた土湯・土湯峠でのゆったりとした保養を行うことも検討しています。

これまでの土湯・土湯峠での保養では旅館のメリットを生かし、参加者の皆さまにゆっくりした時間を過ごしてもらっていましたが、猪苗代シェアハウスではまた一味違った保養の形となっています。共同で自炊のプロジェクトですので、調理や後片付けの手間は参加者の皆さまにもご負担いただいておりますが、その分、旅館利用の際には一部の食材となっていたこちらからの食材送付が、全食材について選んだものを送付して食べていただくということが実現できていたり、またみなさんでの共同の作業が良い交流の場ともなっていたり、次回7月に参加予定の利用者のお母様からも中学生以上のお子さまたちはみんなと一緒に料理するのを楽しみにしている、と嬉しいお話も頂いています。地元の方のご協力も得て猪苗代湖などでのネイチャー・ツアーなども実施し、こちらでも好評を得ています。

今後もより良い形で運営できるよう実施中の第5期、そして第6期以降に向けても準備・調整を進めているところです。みなさまからの引き続きのご指導、そしてあたたかいご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

◇実施したセミナー

○4月20日ぽかぽかセミナーシリーズ⑩ 協力：どうする福島、311受入全国協議会

「やさしく学ぼう！健康問題 & 避難・保養の相談会」

- ・ 避難・保養相談コーナー

避難・保養受け入れを行っている団体が出展し、相談を受け付けました。

- ・ ぽかぽかセミナー

「やさしく学ぼう！健康問題」 村田三郎／阪南中央病院副院長

「避難受け入れの取り組み」 早尾貴紀／311受入全国協議会

「週末保養を～ぽかぽかプロジェクト」

◇イベント、交流会、食材について

第4期では第3期に引き続き、利用者の方にもスタッフとしても積極的に関わっていただくことができ、交流会や雪遊びなどを実施することができました。残念ながら天候により、雪遊びができない回もあったのですが、実施できた回では、子どもたちはそり遊びなどを楽しむことができました。交流会では参加者の皆さまの不安や疑問、抱えている思いなどをスタッフも含めて共有することができました。



また、鍼灸の技術をお持ちのぽかぽか協力者の方が土湯峠において下さり、親御さんたちを癒して下さった回もありました。ありがとうございます！



【食材】

こちらで購入して送付した西日本や北海道のお野菜やお米の他に各地からの食材のご寄付もいただきました。宿泊中のお食事に使われる食材の一部ではありますが安全でおいしい食材の提供に、参加者のみなさまからも、旅館からも大好評でした。

◇利用者の方々からのお声一部ご紹介

放射能の少ない場所でいつもはさわれない雪遊びができ、子どもも大満足のようでした。心も体も親子でリフレッシュすることができ、本当によかったです。ありがとうございました。

放射能を気にせずいられることの幸せを感じました。本当にありがとうございました。

娘と3人で雪降る空の下ゆっくりと保養させていただきとても満足しています。

久しぶりに心も体もゆっくりできてよかった。こういう機会を与えてくれてありがとうございました。旅館の人もすごく親切で良かったです。

温泉に入って親子ともどもくつろげました。交流会では子どもたちもトランプなどで楽しく参加できました。

初めての利用でしたが子どももとても満足していましたし私たち大人も気分をリセットし、また明日から頑張ろうと力が湧いてきました。

外の通学路が0.4~0.6近くあるとの地域、週末は工夫して県外で保養している方、色々のお気持ちがあり、個人的にもお話の機会を持っているご家族同士もありました。皆さん同じ意見としては、ぽかぽかプロジェクトのように保養プロジェクトを企画して下さって親も子もリフレッシュできる機会を持って下さり感謝しているとのことでした。

今後も続けて下さるような声がありました。

----- (以上)

第1期から第4期まで無事にプロジェクトが実施でき、このような嬉しい喜びの声を多数いただけましたのは、ひとえに皆様からのご支援のおかげです。

まずは書中をもちましてお礼とさせていただきたいと思います。本当にありがとうございました。収支報告につきまして詳しくは別添収支報告書をご覧ください。



福島ぽかぽかプロジェクト事務局一同
福島ぽかぽかプロジェクト事務局
〒162-0825 東京都新宿区神楽坂 2-19 銀鈴会館 405号 AIR 気付
Tel:080-6008-0808
Fax:03-5225-7214
E-mail: pokapoka.watari@gmail.com
Web:http://ameblo.jp/pokapro/

※本プロジェクトは「わたり土湯ぽかぽかプロジェクト」としてスタートしましたが、第2期開始に
当たり対象地域を拡大したこともあり、「福島ぽかぽかプロジェクト」と名称を変更いたしました。